

《前橋育英高等学校 アメリカ研修 Day3 (8月18日) 報告書》

本日も朝から快晴です。本当にこの時期、ここロサンゼルスでは雨がほとんど降らないそうで、湿気というものをまるで感じず、暑いながらも日本のような重苦しい空気とは異なる夏を体験できていると思います。ただ乾燥するため、手がガサガサ！喉もカラカラ！という声が聞こえます。脱水注意で、火曜日にも駆け抜けたと思います。

今日の午前中は St. Paul High School へ訪問しました。カトリックの共学校であり、カトリックの教育理念を基盤に、学業・芸術・スポーツの幅広い分野で生徒の才能を伸ばし、豊かな人間性と自律心を育む教育を行っている学校です。教室に案内されると Shadow と呼ばれる現地校生徒たちが待っていてくれました。アメリカでは珍しく制服もあり、今回女子生徒が多めに集まってくれましたが、何とも言えない大人っぽさに初めは戸惑いながらも、そこはやはり同世代、すぐに打ち解け楽しそうに会話する姿が見られました。生徒それぞれに現地校生徒が付いてくれ、初めの 40 分程度は彼らの授業に共に参加しました。新学期がスタートして間もない時期でもあり、宗教の授業では「All about me」のタイトルで生徒たちが自らの紹介スライドをまとめているところでした。それを横目で覗きながら、会話のチャンスを探ります。先生の問いかけに、現地の生徒たちはすかさず反応。日本とは少し異なる授業スタイルを見ることができた貴重な機会になったのではと思います。

その後再度ホールに集まり、「Egg Drop Challenge」なるアクティビティに現地校生徒とともに取り組みました。渡されたのは生卵と、30 本近いストロー、1 メートルほどのガムテープです。卵を落としても割れないような仕掛け作りに各グループ試行錯誤しながら取り組みます。作っている最中に卵が割れるハプニングもありましたが、時折歓声を上げながら協働作業に勤しみました。楽しい時間の後は、ジムにて Shadow students とお別れをし、バスで学校を出発いたしました。2 時間ほどの交流でしたが、さすが同世代！あっという間に仲良くなり、別れを惜しんでいました。

途中のモールで各自ランチ休憩、その後バスに揺られること 30 分弱、珍しく車内で爆睡する姿も。大学に到着、プログラムディレクターのアマンダに迎え入れられ、ここから始まる 3 時間の拷問... 英語クラスに向けて 20 分ほどの小休憩です。お腹いっぱい、眠気 MAX、疲れもそこそこな状況でも、生徒たちは暗号のような英語の問題にペアやグループで真剣に取り組んでいました。リアクションが少しずつ英語っぽくなってきたのも微笑ましい限りです。高校生、やはりいろいろな意味で柔軟です！



生徒が増えている？のは、現地校生徒が混ざっているから



なぞに真剣顔の日米高校生



日米女子高生対談



馴染んでいます



馴染んでいます②



真剣そのものの協働作業、負けられない戦い



SPAM おにぎりみたいなのができました



絶対に割れない自信



絶対に割らない決意



男子も一致団結



作業場の風景



無常にもこんな感じで落とされます



お手柔らかにお願いしまーす！



とても楽しそうでした♪

